

感謝の声を紹介

Sacco (サッコ、東京都渋谷区、加藤社長) は、多くのステークホルダーの評価を載せることで企業の公器性を可視化するウェブサービス「Coki (コウキ)」を2021年4月に始めた。コウキ内に企業の専用ページを作成。

「この人のおかげでいまの会社がある」といった感謝の声を紹介する「ありがとうメッセージ」など、ユニークな

Sacco

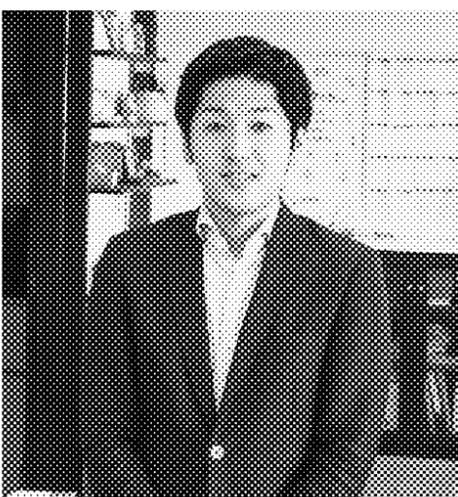
輝け! スタートアップ

130

企業の公器性を可視化

示したが、顧客や社員らに伝わっていないなどの課題を抱えている。一方、地域貢献で地元で愛される老舗企業も多い。コウキは自社が「社会の公器」として役立っている点を自覚させ、持続可能な社会づくりに貢献する姿勢を伝えるメッセージャーの役割を持つ。

「役に立ちたい」加藤社長は起業前にライターとして多くの経営者取材した。取材対象者の「人の役に立ちたい」という姿勢に感銘を受け、「自分



「将来は売り上げの半分をコウキで得たい」と意気込む加藤社長

も世の中の役に立ちたい」と思い、社内報やウェブマガジンの制作に手がけるサッコを15年に立ち上げた。ある社内報の発注企業は社員のモチベーションが上がらない課題を抱えていた。そこでサプライヤーなど外部評価を載せたところ、ワーク・エンゲージメントの向上につながり離職率が低下した。行トとしても機能し、掲載過ぎた株主資本主義から、「三方よし」な社ホームページなどで例えられる公益資金二次利用できる。無料を含む掲載企業数は206社だが、「1年以内に有料会員だけで500

ヒントとなった。社を目指す」(加藤社長)としている。

有料会員500社に

現在は無料プランのほか、消費税抜きで月額3万5000円から10万円の各種プランを用意。有料でステークホルダーやESG・SDGの取材、イベント参加などが可能となる。会員企業の専用ページは第三者による簡易型の統合報告リポートとしても機能し、掲載するコンテンツは自約企業から利用料を得られる。加藤社長は「将来は売り上げの半分をコウキで得たい」と意気込む。(渡部敦(金曜日掲載))